

主な記事

ステージアップ

Stage Up

・地域文化の創造をめざす

川崎区誌研究会

・生涯学習相談ルーム「アスク」

学習相談ボランティアの取組

・【財団情報】夏休み子ども特集

(キッズセミナー・子ども陶芸教室・サマーキャンプ)

詳細・他記事等

◆ 施設めぐり

・王禅寺エコ暮らし環境館

・多摩川交流センター

・川崎市緑化センター

◆ 情報ポケット

・ANIMAMALL
かわさき

(川崎市動物愛護センター)

・お楽しみコーナー
クイズに答えよう!

◆ お知らせ

・2019年度 第II期
陶芸教室受講生募集

・川崎市生涯学習
プラザ情報コーナー

◀ ANIMAMALLかわさき
撮影日
2019年4月11日



<インターネット川崎ガイド>シリーズ⑧ ANIMAMALLかわさき

川崎市動物愛護センター ANIMAMALLかわさきは、動物を通じて、「いのちを学ぶ場・いのちをつなぐ場・いのちを守る場」として、上平間に移転オープン(2月12日)しました。人々の笑顔があふれ、幸せを感じることができ、また命を大切にし、やさしさあふれる「人と動物が共生する心豊かなまち」を実現するための役割を担う施設となっています。

【インターネット川崎ガイドでは、川崎市全域の公共施設、観光・散策スポット等の写真を掲載しており、それら著作権フリーの写真約10,000件を公開しています】

インターネット川崎ガイド

検索



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

地域文化の創造をめざす 川崎区誌研究会



▲ 小泉茂造さん

川崎区誌研究会(以降「同会」と略します)は、川崎区を中心とした地域の歴史・民俗・文化・地誌等を調査・研究・学習し「地域文化の創造をめざす」ことを活動目的に掲げています。代表の小泉茂造さんは、市民の研究者発掘の場として、ジャンルにこだわらず、発表したいという人たちにも提供

する会として誰でも自由に参加でき、随時会員を募集していると話します。

研究熱心な会員たちの発表の場

2019年3月16日(土)、産業振興会館の研修室で行われた同会の例会に参加しました。この例会は、毎月第3土曜日午後6時から開催しており、会員以外でも無料で聴講することができます。この日は、同会会員の鈴木富雄さんによる「田中丘愚の事績-民間省要※-」と「条理集落の分布」をテーマに発表していました。



▲ 鈴木さんの発表と聞き入る会員

1700年の始めにあった元禄・宝永地震と富士山の大噴火による酒匂川の治水工事とそれに伴う農民たちの苦悩など、興味深い話を聴くことができました。会員のみなさんが自ら研究したことを例会で発表していることを知り、学ぼうとする意欲に感服しました。

※【民間省要(みんかんせいよう)】農政書。川崎宿の名主田中丘隅(きゆうぐ)著。3編15巻。享保6年(1721)ごろ成立。村役人の立場から税制・治水・駅制など77項目について意見・見聞を記したもの。(出典 日本国語大辞典精選版)

同会の設立の経緯

1995(H7)年4月、川崎市立川崎図書館が川崎駅前タワー・リパークに開館しました。これを機に、川崎図書館より川崎区域の歴史・地誌の体系的な区史文献がないので、地域文化発信基地の図書館としての役割から、それを補う開館記念誌の刊行を数人の地域史研究者たちに委託され『川崎区の史話』が執筆されました。

▲ 「川崎区の史話」
区誌研究会発足の記念誌

長島保氏(平成27年川崎市文化賞受賞・昨年11月逝去)が発起人となり、小泉茂造氏(川崎地名研究会・現在の同会代表)、金井晃氏(川崎地域の古文書を読む会・現在運営委員)などの執筆者に呼びかけ、翌96年「川崎区誌研究会」が結成され、今年で23年目を迎えています。(2019年3月現在、会員20名)

講演会や展示会などを企画

主な活動は、「講演会・展示会・見学会等の開催」「調査研究成果発表(会員以外でも可能)」「市立図書館をささえる諸活動」などです。

毎年1月下旬から2月上旬の1週間「地域文化歴史地誌など」の企画展を同会・川崎図書館・市文化財団の共催で開催しています。今年は「Stage Up」の表紙をかざった画家「さとう菊夫・かわりゆくまち『川崎百景』」の企画展を開催しました。絵画と共に現在の写真(同会会員藤田道夫氏のインターネット川崎ガイドの写真を活用)を展示し比較できる工夫をしました。



▲ 同会が開催する企画展

発行文書・新聞掲載など

▲ 川崎大師製造物
調査報告書

古文書部会では、川崎の地方文書「旧小田村文書」「池上文書」などの文書を解読しており、現在は「旧川崎領市場村の添田家文書」を解読しており、会報「筆あと」を発刊しています。

石造物部会では、主に川崎地域に関する石造物調査を行っており、とりわけ、2014(H26)年刊行「川崎大師石造物調査報告書」は、川崎大師平間寺境内における全石造物(銘文も含む)を数年かけて調査した報告書(226頁、写真179枚掲載)で、現在これ以上のものは出来ないと言われています。

また、会誌「史誌かわさき」の刊行(現在11号)、「東海道と川崎宿」「人物かわさき史話」を神奈川新聞へ連載、「川崎大師と地域の歴史」を月間「大師だより」に連載など、同会会員が多数執筆しています。



▲ 史誌 かわさき

■ 問合せ 代表・小泉茂造さん TEL 044-266-5937



生涯学習相談ルーム「アスク」 学習相談ボランティアの取組

学習情報提供や相談事業

毎週水曜日、中原市民館の正面玄関に入ってすぐ右側のグループ室では、生涯学習について相談できるコーナー「生涯学習相談ルーム『アスク』(以降「アスク」と略します)」を開設しています。

アスク開設以前は、市民からの様々な相談に対応できるように、2004(H16)年10月より「学習情報提供・学習相談」を月2回(第2・4木曜日の午前)開設しており、地域教育会議



▲中原市民館入口横のグループ室

委員やPTA役員などが相談に携わっていました。

より充実した生涯学習に関わる情報提供・相談事業の推進を図るために2011(H23)年1月、市民エンパワーメン

ト研修「学習相談ボランティア養成講座」を開催し、講座修了生の中から学習相談ボランティアを募りました。その年の6月より「生涯学習相談ルーム・アスク」を開設しました。毎週水曜日のシフト表をつくり、いつも2~3人に対応できるようにしています。アスクは次のような相談に対応しています。

【主な相談内容】

- ・引っ越してきたので、中原区の情報知りたい
- ・健康維持に運動をはじめてみたい
- ・講座やコンサートなどのイベントを知りたい
- ・中原区の情報や子育て情報を知りたい
- ・時間に余裕ができたので何かを始めたい(健康づくり、茶道、フラダンス、パソコン教室)

「アスク」を開設し、2019年3月までに、692件の相談がありました。

アスク開設以降もシニアの社会参加支援事業として「学習相談ボランティア養成講座」などの講座を開催し、受講修了生の希望によりボランティアに登録しています。(2019年4月現在、17名の学習相談ボランティア)

資料をすばやく提供するための工夫

シフト表に沿って多くの相談員が相談事業に対応するので、すばやく情報提供できるように共通理解を図っています。情報提供しやすいように、ファイルに番号をつけて取り出しやすくする工夫をしています。1 コーラス・詩吟・朗読、2 楽器演奏、3 その他趣味A(人形作り・編み物)、4 その他趣味B(発明・ウォーキング・囲碁・将棋)、5 その他趣味C(習字・

俳句・着付)、6 絵画・陶芸、7 語学、8 パソコン、9 ダンス、10 スポーツ、11 子育て、12 シニア



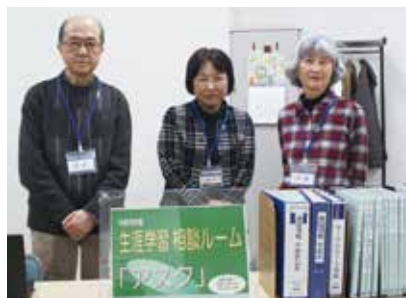
▲資料を整理し、取り出しやすくする

中原区おでかけマップ、13 健康・福祉・障害・環境、14 スポーツクラブ、15 カルチャーセンター、16 ボランティアなど、番号で管理し、どの相談員でも分かる工夫をしています。また、インターネットでも調べられるようにしています。

傾聴を大事に対応しています

アスクの学習相談ボランティアのみなさんから、活動していて良かったことについて伺いました。

岩撫さん・唐戸さんは、「いろいろな方と出会うことができること」「親切にアンケートに答えてくださること」「訪ねてきた方が、有用な情報を得ることができ、喜んでくださった時」「自分が役にたっていると感じた時」など相談員をやっているよかったですと話します。



▲碓井さん・唐戸さん・岩撫さん

碓井さんは、「高齢者における生涯学習の一考察～なぜ高齢者は学ぶのか」というテーマの論文も書いており、生涯学習への深い思い入れがあります。「一方的な押しつけでなく、相談者の立場を大事にしなが

ら傾聴に心がけています」「インターネットで調べても分からなかったことが、アスクで相談したら分かったと言われた時やりがいを感じる」と話します。

市民協働のメリット

中原市民館の小栗さんは、「行政にはない、地域情報や地域ネットワークを生かした情報提供や市民のニーズに合った学習相談ができます」「学習相談に専従するボランティアがいるため、即時対応・日常的な学習情報の収集ができ、きめ細かな学習相談が可能となっています」と、アスクで活動している学習相談ボランティアのみなさんに感謝していました。

【相談日時】 原則毎週水曜日(祝日・年末年始を除く)

10時~12時30分 13時30分~16時

【会場】 中原市民館 1階グループ室

【アクセス】◎JR南武線「武蔵小杉駅」下車

北改札(南武線口)・東口より徒歩3分

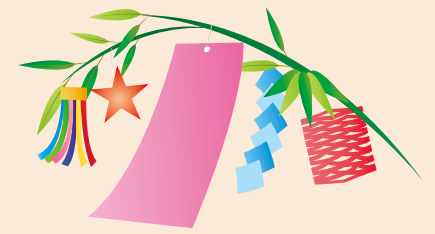
◎東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」下車

正面より徒歩3分、南口より徒歩4分

■問い合わせ 中原市民館 044-433-7773



夏休み子ども特集



当財団主催の夏休み子ども向け事業を紹介します。公益財団法人の特性を活かし、行政・学校教育関係者やNPO法人との多様な連携・協力により、子ども向け事業として、「サマーキャンプ」(川崎市青少年地域間交流事業)、「キッズセミナー」、「子ども陶芸教室」を開催しています。

●キッズセミナー

「キッズセミナー」は、小学3年生から6年生を対象に、夏休み期間に体験活動等を通じた学習活動の充実を図ることを目的に実施しています。

今年度も、「社会科ふしぎ発見」の講座は「大山街道ふるさと館」(高津区)を会場にして開催します。認定NPO法人教育活動総合サポートセンターとの連携・協力事業として推進しています。

今年、7月22日(月)～7月26日(金)の5日間、川崎市生涯学習プラザと大山街道ふるさと館で開催します。指導者は、川崎市立学校で長く教職に就いていた経験豊富な先生方です。

◆対象 小学3年生～6年生で、実施講座は、以下の23講座です。

- ★日本語を楽しもう
- ★算数レベルアップ①・②
- ★楽しい理科A・B
- ★おもしろ科学①A・B ②A・B ③A・B
- ★わくわく造形教室A～D
- ★楽しい英会話遊びA・B
- ★社会科ふしぎ発見
- ★チャレンジ算数①・②
- ★たのしい音楽
- ★キッズパソコンA・B

◆申込期間 6月3日(月)～6月24日(月)

◆受講料 各講座とも1回1,200円

※その他通信費等として200円、保険料として1日当たり42円がかかります。



▲キッズパソコンの子どもたち(難しい漢字の読み方に答える受講生)

●子ども陶芸教室

「子ども陶芸教室」は、陶芸を学ぶ市民(陶芸教室受講生)のボランティア活動を促進するため、夏休み期間に小中学生を対象に開催しています。

川崎市生涯学習プラザで7月7日(日)と8月24日(土)の二日間で行う「子ども陶芸教室」は、小学5年生から中学2年生までを対象としています。プラザ陶芸教室で作陶に励んでいる受講生の皆さんが、培った技術や知識を活かして指導にあたっています。

陶芸の決まりや約束事を超え、子どもたちの自由な発想に刺激を受け、「逆に学ぶことが多く、楽しい経験ができました」との感想もありました。子どもと大人たちとの交流や楽しい陶芸の世界にふれる貴重な機会となっています。

◆対象 小学5年生～中学2年生

◆募集定員 24名

(定員を超えた場合は抽選になります)

◆申込期間 5月31日(金)～

6月25日(火)

◆費用 1,200円

◆会場 川崎市生涯学習プラザ



▲子ども陶芸教室の様子



▲子どもたちの作品

●サマーキャンプ

「ふれあいサマーキャンプ」は1990(H2)年に始まりました。参加者の累計が5,500名を越えています。交流自治体等の豊かな自然や生活・文化にふれ地域の人々との交流を通して、心身ともに健康に育つことを目的として、小学5年生から中学2年生を対象に実施しています。

サマーキャンプは、当財団、川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館とともに、市PTA協議会、市小中学校長会、青少年団体等で構成する「川崎市青少年地域間交流事業実行委員会」が実施・運営しています。

2019年度 日程と内容

⑥北海道中標津町コース

8月19日(月)～22日(木) / 3泊4日



開陽台パノラマ眺望、畜産食品加工実習(バター・ソーセージ・アイスクリームなど)、中標津ウォーク、バーベキュー、キャンプファイヤー、中標津小学校との交流、溪流釣り体験、硫黄山・摩周湖見学など

地元小学生との交流。川遊び(飛び込み、いかだ遊び、ヤマメのつかみ取り、串刺し、塩焼き)流しそうめん、海遊び(魚・貝・カニ捕り・海水浴)炊飯活動など

宮沢賢治記念館、賢治の童話村、和紙漉き体験、地元子ども会との夕食・花火交流会、ホームステイ家族との交流、農業等生活体験、SL 銀河蒸気機関車乗車体験、カヌー・ボート体験など



8月2日(金)～4日(日) / 2泊3日

④岩手県花巻市コース



8月1日(木)～8月3日(土) / 2泊3日

③宮城県涌谷町コース



8月5日(月)～8月8日(木) / 3泊4日

⑤長野県富士見町コース

地元小中学生との交流(カレーづくり、井戸尻遺跡縄文体験、キャンドルファイヤー)星座観察・天体観望、渓谷ハイキング(川遊び)、水中昆虫観察、畑でトウモロコシ収穫体験など

自然散策、沢カニ捕り、天平ろまん館砂金採り体験、史跡黄金山産金遺跡等見学、地元小中学生との交流(野菜収穫体験、カレーづくり、カヌー体験)、崑崙寺座禅体験など

①島根県益田市コース

7月20日(土)～23日(火) / 3泊4日



地元小学生との交流(カレーづくり、井戸尻遺跡縄文体験、キャンドルファイヤー)星座観察・天体観望、渓谷ハイキング(川遊び)、水中昆虫観察、畑でトウモロコシ収穫体験など



7月23日(火)～26日(金) / 3泊4日

②和歌山県古座川町コース

◆対象:小学5年生～中学2年生

◆募集は5月31日までですが、定員に満たないコースは、6月に再募集があります。

問合せ先 (公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室
TEL 044-733-6626 FAX 044-733-6697

施設めぐり

市内公的施設などの紹介

麻生区

王禅寺エコ暮らし環境館

JR武蔵溝ノ口駅・小田急線柿生駅・生田駅・田園都市線宮前平駅から市バス長沢入口下車2分、小田急線新百合ヶ丘駅から小田急バス田園調布学園大学前下車5分
TEL 044-712-4637

資源循環・温暖化対策・自然共生について学べる施設



▲ エントランスのかわるん

2016(H28)年4月1日に開設した王禅寺エコ暮らし環境館は、資源循環・温暖化対策・自然共生について学ぶことができます。限りある資源を循環させる3R(ごみを減らす・くり返し使う・資源として使用する)を知り、実践すること学べます。ごみの



▲ 環境館3階展示ゾーン

重さの体験コーナーもあり、ごみや資源物の流れを理解することができます。

同館と併設されている資源化処理施設では、主に高津・宮前・多摩・麻生区の粗大ごみ、小物金属、空き缶、ペットボトル、空きびんを適正に再処理するために破碎、分別、圧縮梱包等を行っており、資源化処理の過程を見学することができます。

2019年度の主な催し

◆環境教室を「春・夏・冬」に開催

これまでは木工ワークショップ・物々交換会・分別釣りゲーム・おもちゃの病院・スケルトン車展示・燃料電池自動車同乗体験・花の植替え体験など盛りだくさんの催しを開催
※環境教室は、スタッフブログで掲載中



▲ 物々交換会

◆開館日時 9:00～16:30

(見学の方の入場は16時まで。休館日:毎週水曜、年末年始、水曜日が祝日の場合は翌平日が休館)

◆見学方法 自由見学(無料)

幸区

多摩川交流センター

川崎市営バス73系統、又は東急バス五反田行き「御幸公園前」下車3分 TEL 044-555-4311

多摩川利用者のオアシスとして

2013(H25)年10月17日にオープンした多摩川交流センターは、次の目的で河川財団が整備しました。



▲ 多摩川交流センター

①河川利用者の交流や利便性を促進する施設



▲ 講演会の様子

②地元自治体・自治会・河川管理者等の公共的な広報等

③地震等災害時の避難・救援・情報発信拠点として活用

④川崎リバーサイドパーク(ゴルフ場)の受付機能の付加

利用者から大好評

交流・休憩スペースには、カフェもあり軽食を販売。きれいな水洗トイレやシャワー(有料)・3タイプ(米・英・仏式)の空気入れを常備(無料)しています。



▲ 屋上からの眺望

◆営業時間 7:00～(17:00-18:30)
※詳細はホームページをご覧ください。

◆休業日 毎月第1・3・5火曜、当日が国民の祝日及び特定の日(12月29日、30日、1月3日～5日及び8月13日～15日)の時は通常翌日が定休日。年末年始12月31日～1月2日



▲ 米・英・仏式の空気入れ

多摩区

川崎市緑化センター

JR南武線宿河原駅下車7分 TEL 044-911-2177

緑化センターの沿革

緑化センターは、1936(S11)年、神奈川県農業試験場東部園芸指導地として開設されました。

1949(S24)年に川崎市に移管され、川崎市園芸技術普及農場として、ナシやモモなどの果樹栽培技術の普及、家畜伝染病の予防、農業用機械の技術講習場として活用されました。

1979(S54)年に都市緑化の推進のために設定された川崎市緑化センター条例に基づき、「緑の相談所」の機能を持つ川崎市緑化センターとなり、現在に至っています。

園内は、一年を通し色とりどりの草花が咲き、各種樹木が立ち並び、広々とした芝生広場、市民の木として親しまれている「ツバキ」が約200種植えられています。



▲ 緑化センター

2019年度の主な事業

◆樹木・草花及び種・苗の収集

◆展示会(年間16回)

寄せ植え盆栽展・食虫植物展・押し花展・多肉植物展 他多数

◆講習会(年間30回)

盆栽教室・植物の殖やし方～挿し木・挿し芽編 他多数

※展示会・講習会の詳細は、ホームページをご覧ください。

◆開園時間 9:00～16:30

冬期(11月1日～2月末日)

9:00～16:00

◆休園日 月曜日、年末年始(12月29日か1月3日)

◆緑の相談(電話による相談にも対応)



▲ ハナショウブの品種展



▲ センター内の温室では1年中お花を楽しむことができます

川崎市動物愛護センター ANIMAMALLかわさき

JR南武線「平間駅」徒歩7分・JR南武線「鹿島田駅」徒歩11分・市バス「平間小学校前」徒歩4分・東急バス「鹿島田」徒歩6分

人と動物が共生する心豊かなまちを実現

ANIMAMALLかわさきは、動物を通じて人々の笑顔があふれ、幸せを感じることができ、また命を大切にし、やさしさあふれる「人と動物が共生する心豊かなまち」を実現するための役割を担う施設です。

ANIMAMALLかわさきは、今年2月12日移転オープンしました。2月28日同館を訪れ、所長の須崎さんに館内の各施設を案内していただきました。

適正飼養とボディランゲージ



▲須崎さんとボディランゲージのパネル

階段を上がった2階・3階の壁には、犬や猫の適正飼養やボディランゲージのパネルがあり、動物の気持ちを知ることが市民に伝えたいと話します。

旧施設より敷地面積は約2倍、延床面積は4倍近く広がっています。2階3階の階段の幅を変えて採光を工夫し1階も明るくなっています。

須崎さんは、動物たちの福祉を重要と考えており、犬や猫の新しい飼い主(譲渡)の話では、動物にとっての幸せを最優先する立場にたって考えることを大切にしています。



▲機器の充実した手術室



▲備蓄庫

川崎市獣医師会の助言のもと、最新の医療機器等を導入し手術室の機器の充実を図りました。

民間企業や市内外の方々などからの協力で餌の寄贈などもあるそうです。館内には災害時などの対応用として、備蓄庫(4室)や動物の感染を防ぐ部屋もあります。

市民が使える市民協働室

3階には、ボランティアや地域団体などが情報交換を行うために使える

「市民協働室」や各種教室・研修会で利用できる「ヒルズ研修室」もあります。



▲市民協働室(左)とヒルズ研修室(右)



■問い合わせ先
川崎市動物愛護センターANIMAMALLかわさき
TEL:044-589-7137 FAX:044-589-7138

■開館時間
日曜日～木曜日 午前8時30分～午後5時15分

■休館日 金・土・祝日・12月29日～1月3日

※日曜日が祝日のときは開館

◆お楽しみコーナー Stage Up 228号 クイズに答えよう!



川崎市動物愛護センターANIMAMALL〇〇〇〇は、動物を通じて、「いのちを学ぶ場・いのちをつなぐ場・いのちを守る場」として、上平間に移転オープン(2月12日)しました。下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『ANIMAMALL〇〇〇〇』

【応募方法】

①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所 ⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2019年6月30日(日) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

E-mail: stage-up@kpal.or.jp

TEL 733-5811 FAX 739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆227号のクイズの答え・・・宿河原

2019年度 第Ⅱ期 陶芸教室 受講生募集

《捏(こ)ねる→成形→削る→釉掛(ゆか)け(全12回)》

手づくりの器の味わいを日々の生活に



◆水曜コース 7月31日～11月20日

◆土曜コース 8月3日～11月16日

【時間共通】手びねり 9:30～12:30 電動ろくろ13:30～16:30

会場 川崎市生涯学習プラザ 地下実習室
 対象 18歳以上の方 **電動ろくろコースは手びねり経験の有る人**
 定員 手びねりコース各15名、電動ろくろコース各11名
 内容 土(菊)練り、成形、削り、絵付け、釉薬かけ等
 費用 手びねりコース 34,300円・電動ろくろコース 40,500円
 (共に材料費、焼成料・釉薬代込み)

申込方法 はがきに、いずれかの希望コースを明記して、または、ホームページから
水曜-手びねり、土曜-手びねり、水曜-電動ろくろ、土曜-電動ろくろ
 住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、担当へお申し込みください。

締切日 2019(令和元)年7月1日(月)必着

※応募者多数の場合は抽選(初心者優先)結果を7月6日(土)までにお知らせします。

問合せ先・担当 (公財)川崎市生涯学習財団事業推進室 陶芸教室担当 鈴木
 〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41

TEL:044-733-5893 FAX:044-733-6697 E-mail: suisin6@kpal.or.jp



川崎市生涯学習プラザ 情報コーナー

川崎市生涯学習プラザ
1階の情報コーナーに
ついてご紹介します。



情報コーナーには、様々な生涯学習関連のチラシ・パンフレットがあり、閲覧やお持ち帰りが可能です。暮らし/産業・労働/環境/音楽/教養・文化/子ども向け/スポーツ・健康/資格・大学講座等に分類し、配架しています。テーブルや椅子がありますので、ゆっくりと閲覧できます。ぜひ、ご利用ください!



▲プラザ1階情報コーナー



▲チラシコーナー

正面玄関を入ると、「Stage Up」や生涯学習プラザで開催している当財団主催のスポーツ教室、陶芸教室、☆キラリ文化教室等のチラシを配架しています。



- ◇川崎市内各種イベント・催し物
- ◇大学公開講座・カルチャーセンター講座
- ◇資格・就職・試験等の教育制度、パソコン講座
- ◇市内施設案内・地域資料
- ◇市町村広報誌、行政資料
- ◇パスポート申請書
- ◇中原区ガイドマップ・おでかけマップ

・JR南武線 「武蔵小杉駅」西口 12分 ・JR横須賀線 「武蔵小杉駅」新南口15分
 ・東急東横線 「武蔵小杉駅」南口 10分 ・東急東横線 「元住吉駅」西口 10分

※生涯学習・芸術・地域資料等の図書や、子ども向け絵本もあります。

■お問合せ(公財)川崎市生涯学習財団 TEL044-733-5811